

# 安全パトロール

## 釜房ダム貯水池等堆砂測量 (東北地方整備局 釜房ダム管理所)

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当ではない女性社員による安全パトロールを実施しております。

日ごろ現場経験のない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。

今回は、釜房ダムにて安全パトロールを実施してまいりました。



### 安全パトロール実施状況



作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や作業時の注意点について情報共有を行う為、安全掲示板を活用し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、第三者目線で確認を行った。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について安全対策案の検討を行った。

### 安全対策実施状況

#### ①作業状況箇所確認・注意点抽出



現地踏査時に360度カメラを用いて、作業箇所を撮影しながら現地状況の把握を行った。現場周辺の注意点を抽出して安全対策マップを整理し、注意箇所を作業担当者へ周知し、測量作業時の安全対策の検討を行った。

#### 釜房ダム周辺の注意点

- 現場周辺は竹藪等があり、川崎町ではクマの出没情報もある為注意する
- 船上での作業は日陰がなく、水面からの紫外線反射があり温度が上がる為、熱中症に注意する
- 釜房ダムでは年間を通して「蔵王おろし」と呼ばれる蔵王連峰から強い風が吹く為、作業船使用時に注意する

### ②安全対策の検討・安全対策実施結果

#### ①社会条件等への対応（害獣対策）



迅速な対応ができるよう使用訓練を実施



訓練用スプレーを使用

ベルト・リュックに装備して噴射にかかる時間を比較した結果、ベルトに装備する方が早いことがわかった。作業時はベルトに装備し携行するよう担当者へ周知を行った。

#### ②厳しい自然条件への対応（熱中症対策）



作業担当者を対象とした熱中症対策講習会を実施し、現場では熱中対策バンド・熱中症指数計を装備して暑さを見える化することで、熱中症を未然に防ぐ対策を行った。



黒球式熱中症指数計

#### ③厳しい自然条件への対応（気象状況対策）



蔵王連峰から吹き下ろす強い風



作業中止基準を変更（作業中止）

作業船使用時の作業中止基準を風速5mとしているが、蔵王おろしによる風の影響で波の高さが変わりやすく危険な為作業中止基準を風速3mとすることで作業担当者の安全を図った。

釜房ダムの自然環境を踏まえ、害獣対策、熱中症対策、気象変化への備えを継続的に行うことで、安心して作業できる環境づくりができておりました。今後も現場状況に応じた対応と情報共有を徹底し、「安心・安全」な作業環境の維持に努めてまいります。